

(別紙)

○有限会社グリーンステージ大平

- ・構成 代表取締役 飯田智司 外15名
- ・対応者 代表取締役 飯田智司

[概要]

栃木県大平町は豊富な日射量ときれいな水に恵まれた町であり、カクテルトマトは、2002年5月にこの町で生まれました。

カクテルトマトが収穫される1万㎡の温室内では、ハチが飛び、自然交配が行われ、天敵昆虫が害虫を食べて生きている一方、温度、湿度、CO₂濃度、日射量管理、肥料濃度、水分管理などは、オランダPRIVAコンピュータにより無人制御されています。

1万㎡のハウスにカクテルトマト2万2,000本を作付けしていますが、1房に6～7個なる房を40段まで成長させ、収穫量は年間350トン、関東地域を主体に出荷しており、年商は1億8,000万円に上ります。生産期間は10月から6月までで、7月から9月までは苗の育成や植え付けを行っています。

なお、「カクテルトマト」は、有限会社グリーンステージ大平の登録商標となっています。

○株式会社M式水耕研究所

- ・構成 代表取締役会長 村井邦彦、代表取締役社長 村井智子、
取締役営業技術部長 神谷高裕 外20名
- ・対応者 取締役営業技術部長 神谷高裕

[概要]

野菜にも、おいしさだけでなく、衛生管理された安全性が求められる時代に対応し、M式水耕プラントシステムは、21世紀の清浄野菜工場として、食生活と農業経営を支えるものと各方面から注目と期待を集めています。

水耕栽培を手がけて30年余になる同社は、水耕野菜の生産から販売、消費までを一体としてとらえ、消費者が求める野菜生産を目指して、数々の栽培法の試みや

改良を重ねながら、独自の水耕システムを開発してきました。

そして、これまでの自然に頼っていた農業から、自然を超えた複合環境制御による安全で安心な健康野菜の生産工場へ、そして「活菜生活」へと向かう栽培革命を推進することにより、豊かな生活と施設園芸の企業的経営に寄与することを目指しています。

また一方では、観光客の施設見学への取組みなどを通じて、根付きの生きた野菜や果実等、家庭でもできる農産物の生産もアピールしています。

○株式会社パソナグループ本部

- ・ 構 成 取締役会長 竹中平蔵、代表取締役グループ代表 南部靖之 外
- ・ 応対者 事業開発部農業プロジェクトチーム 神智美（青森市出身）

〔概 要〕

同グループでは、企業が農業経営に参加するための農業技術者の育成を目指して、農産物の植え付けから育成、収穫までの技術体験をさせています。農業をビジネスととらえ、農業分野で新たな可能性にチャレンジできる経営感覚豊かな人材を育成、確保することにより、雇用の創出に取り組んでいます。

農業に興味を持たせ、ビジネスととらえるきっかけづくりや、農業にチャレンジしやすくするためのインフラの構築など様々なプロジェクトが行われているほか、本年3月には、ほとんどのフロアに野菜などを栽培する農場機能をあわせ持った本部ビルが東京・大手町にオープンするなど、時代の先端を行く企業であると思っています。